

## 木を伐採できないか

大沢川

### 県委託金を調整し一部箇所の伐採を行う

**問** 大沢川は県の管轄だと思うが、木が大きくなり大変な状態になっていると地区民から要望があった。町として伐採できないものか。

**建設課** 大沢川の樹木の伐採については、昨年の要望活動の際に町長から県に対し直接申し入れを行ったところだが、現在、5年度中に実施されるよう県宮古土木センターと交渉を進めている。町としては地域住民の不安低減のためにも、当面の策として、今年度県から交付されている河川維持修繕委託金を調整し、3月中に町直営で一部箇所の伐採を行う予定としている。

**意見** 早急に対策をお願いする。



左上写真  
伐採前の大沢川（町勤労者体育センター付近）



右下写真  
3月中に伐採が完了しました。

## システム構築後の戸別受信機の扱いは

防災

### 親局を更新し引き続き運用する

**問** 一斉情報配信システムの内容は。

**危機管理室** ホームページ、各社の緊急速報メール、ツイッター等の各種インターネット媒体に対して、町側で一つの端末、一回の操作により一斉配信するシステムとなる。

**問** 今までは防災行政無線が聞こえないので戸別の受信機をつけるという議論をしてきた。今回このようなシステムを構築するに当たって、これまでの議論はどのような扱いになるのか。

**危機管理室** 戸別受信機については、親局を更新し、現在あるものは運用していく。将来的には一斉情報配信システム専用の戸別受信機にも送信できるとのことなので、今後その詳細、方向性を検討していく。

林業

## 地域林政アドバイザーとは

### 各種制度の助言や指導を行う

**問** 地域林政アドバイザーとはどのような方がどのようなことをするのか。

**農林課** 森林・林業に関して知識や経験を有する、森林総合監理士や認定森林施業プランナーなどを雇用し、森林・林業行政の推進を図ろうとするもの。主な活用方法は、森林環境譲与税を活用した各種制度の助言や指導などとなる。

防潮堤

## 落下防止柵の設置を

### 県と現地回り協議を続ける

**問** 関口川の水門工事も終わり、水門付近には手すりや落下防止柵がついたが、それ以外のところはどうか。

**水産商工課** 必要箇所には設置する方向で県と協議をしている。新年度すぐに現地を一緒に回る。

**要望** すでに散歩コースとなっている。なるべく急ぐようお願いする。